



The Asian Economic Policy Review's (AEPR's) Approach to Internationalization

Colin McKenzie
Keio University

Conflict of Interest (COI) of the Presenter : No potential COI to disclose



- Asian Economic Policy Review (AEPR) [WILEY]
Managing Editor 2004-
- Asian Economic Journal (AEJ) [WILEY]
Managing Editor 2003-2004, 2007-2008
Associate Editor 1997-2002, 2005-6, 2008-
- Keio Economic Studies (KES) [慶應義塾経済学会]
Managing Editor (2008-2011)



	AEPR	AEJ	KES
<ul style="list-style-type: none">• 年間発効回数• 学会誌• 論文収集方法• 各号のテーマ	2 × 招待論文 有	4 ○ 投稿方式 なし (基本的に)	1 ○ 投稿方式 なし
<ul style="list-style-type: none">• 審査方式	公開審査 (コンファレンス)	査読付き (ダブル ブラインド法)	査読付き (シングル ブラインド法)
<ul style="list-style-type: none">• インパクトファクター	0.75	0.26	?



- ネット検索 (Google Scholar) が主流
- 雑誌間の競争が増している。(最近までに経済関係の雑誌数が増加)
- 論文の獲得競争 (インパクトファクター、投稿費用、審査の時間・質・透明性)
- 編集者の獲得競争 (時間の価値、名誉・謝金有無)
- 審査委員の獲得競争 (時間の価値、義務・名誉・謝礼有無)
- 読者の獲得競争 (図書館購入との関係、インパクトファクター)

- 国際化が上記のポイントにどのような影響を与えるか？



- 国際化 出身地を指す？ 現在地を指す？
教育を受けた場所を指す？ 国籍を指すか？

学術雑誌に関して

- 編集チームと編集会議のメンバーの国際化
- 著者の国際化
- 読者の国際化
- 内容の国際化
- 審査委員の国際化



- 学会誌なら学会の構成人から選ばれる。
- KESの場合、すべて慶應義塾大学経済学部のメンバー（最悪のケース）
- AEJの場合、East Asian Economic Association (EAEA, 東アジア経済学会) の学会誌（編集者：アメリカ人一人、ウクライナ人一人、中国人一人、韓国人一人、シンガポール人一人）。Associate Editorは9か国にまたがる。
- AEPRの場合、Editor(4人)は日本人3人、オーストラリア人一人。Associate Editorは「国の代表」とのなるし、その国のネットワーク豊富さ・広さが非常に重要。現在、オーストラリア、インドネシア、マレーシア、韓国、中国、アメリカ、シンガポール、タイ、日本。コンファレンスの討論者を選ぶのに、Associate Editorは重要。



- 投稿方式を採用する時点、著者の国際化はコントロール外となる。
- 論文を招待する場合、人選を行う時には、著者の国籍などを考慮することが可能。
- 特定の国について特集を組む場合（例えば、日本特集や中国特集）、どうしてもその国の学者を選ぶことが多い。しかしその国の学者のレベル又は海外の学者がその国をどの程度研究するかが重要。例えば、ミャンマーを研究する学者が極端に少ない。



- 読者の国際化は国の範囲や数。
- 雑誌の範囲(例えば、アジア関係)にかなり依存する。
- 学会誌なら学会のメンバーの国際化に依存するが、発展途上国向けの会費割引。例えば East Asian Economic Association (EAEA) の場合アジア発展途上国又は大学院性は半額
- 出版社の販売方式(AEJやAEPR)。Wileyは発展途上国の機関に低コストや無料で提供する。
- AEPRの場合、日本経済研究センター(JCER)の会員(ほとんど日本企業・日本人?) + 出版社の販売方式
- 「読む」行動 = アブストラクト・論文閲覧・ダウンロード



- AEPRの選択(アジア関係がメイン):
 - a) 国の特集(日本、アメリカ、中国、韓国、インド)
 - b) 地域の特集(ASEAN、ASEANの新フロンティア)
 - c) 特定なテーマ(アジア危機、環境と気候変動、スポーツの経済学、アジアにおける社会保障、デフレと金融政策、インフラ、財政政策と行程債務)



- 審査委員が通常匿名なので、情報が乏しい。
- AEJは不定期的に審査委員について情報を公開する。
- AEPRは通常の審査委員の代わりに、各論文に指定討論者二人をつける。討論者を選ぶ時に、出身国を考慮する。例えば、第12巻の場合、日本人、韓国人、タイ人、オーストラリア人、中国人、アメリカ人、シンガポール人、マレーシア人。

資料の無断転載はご遠慮下さい。

(No reproduction or republication without written permission)

お問い合わせ先：ワイリー・パブリッシング・ジャパン株式会社
学会英文誌出版部

Tel 03-3830-1233

Email jtominaga@wiley.com